

# 平成27年度公益財団法人宮崎県市町村振興協会事業計画

当協会は、平成23年4月に公益財団法人に移行した趣旨を踏まえ、県内市町村の財政支援の一助となる「貸付事業」をはじめ、人材育成や能力開発を目的とした「研修事業」、住民自治の促進と発展を目的とした「助成事業」など、一層公益性の高い事業に積極的かつ効果的に取り組んでおります。

平成27年度も、公益法人としての社会的要請を念頭に置きながら、当協会の果たすべき役割を再認識し、引き続き法人の目的に沿った下記の事業を効率的・効果的に進めます。

## 1 宝くじ基金の資金貸付

市町村の災害防止対策事業等並びに市町村における緊急に整備を要する施設等整備事業に対し、宝くじ基金の資金貸付を行う。

貸付日を、4月末、5月末及び翌年の3月末とし、市町村の出納整理期での資金需要等にも配慮した貸付を行う。

- ・貸付枠 . . . . . 20億円
- ・貸付利率 貸付実行日における政府資金の貸付利率を基準とし、政府資金の貸付利息以下の率で理事長が定める。
- ・償還期間 12年以内（うち据置期間2年以内）及び15年以内（うち据置期間3年以内）

## 2 市町村交付金の交付 . . . . . 156,373千円

オータムジャンボ宝くじ（新市町村振興宝くじ）の発行趣旨に基づき、市町村が行う公共事業のほか、社会福祉の増進に寄与するものとして、その収益金については、地方財政法第32条に定める事業の財源として積極的に活用できるよう、全市町村に交付する。

## 3 研修事業 . . . . . 49,942千円

情報化社会の急速な進展や地方分権推進など、著しい社会情勢の変化に対応できる市町村職員等の育成強化が必要となってきた。

このため、平成25年3月に策定した市町村職員研修計画（5か年計画）を基礎として、平成27年度研修計画に基づき、各自治体が抱える課題解決に挑戦し対応できるよう、多様な研修機会をさらに提供し、各自治体の人材育成の支援を行う。

#### 4 助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 431,902 千円

##### (1) 市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

###### ① 目的

市町村及び地域づくり団体等が協働して行う、地域づくり推進のための研修会等の事業実施に要する経費に対して助成することにより、地域のより一層の活性化を図る。

###### ② 助成対象団体

###### i) 市町村

ii) 地域づくり団体等（地域社会の健全な発展を目的として、一定の地域の住民により自主的に結成された自治会、町内会等のコミュニティ団体、NPO 法人等の非営利団体（法人格の有無を問わない）

iii) 市町村及び地域づくり団体等で構成する実行委員会等

###### ③ 助成額

3,000,000 円 （1 団体 1,000,000 円以内）

④ 交付の決定等・・・・・・・・書類選考、外部審査会を経て、助成を行う。

##### (2) 市町村職員自主研究グループ支援事業

###### ① 目的

市町村職員等で組織する自主研究グループ活動を支援することにより、職員相互の啓発意欲の高揚、職員の政策形成能力の向上等に寄与することを目的とする。

###### ② 助成対象グループ

県内の市町村職員等で組織する自主研修グループ（単独、複数団体を問わないただし、主たる構成員が市町村職員であること）

###### ③ 助成額

2,000,000 円 （1 団体 500,000 円以内）

④ 交付の決定等・・・・・・・・書類選考、外部審査会を経て、助成を行う。

##### (3) 地方 4 団体に対する助成

市長会、町村会、市議会議長会及び町村議会議長会が行う市町村職員、議員等の人材育成に係る研修、市町村振興のための調査・研究事業に対して助成する。

平成 27 年度助成金額・・・・・・・・18,600,000 円

#### (4) バス共通 I Cカードシステム導入支援事業

県内外での交通機関の相互利用や商業利用が図られ、県民の利便性の向上や地域経済の活性化に繋がる「バス共通 I Cカードシステム導入事業」の市町村負担分として、宮崎県市長会、宮崎県町村会に対して助成する。

##### 事業の概要

- ① 事業主体 宮崎交通株式会社
- ② 事業内容 I Cカードシステムの導入  
車載機台数 354台 営業所端末 6ヶ所7台  
窓口端末 20ヶ所25台 平成26～27年度の2カ年で実施
- ③ 導入システム 西鉄グループの「株式会社ニモカ」の発行
- ④ 運用開始 平成27年12月(予定)
- ⑤ 事業費 413,046千円(税別) H26⇒313,420千円 H27⇒99,626千円
- ⑥ 助成金 合計 34,420千円 (1/12) H26⇒26,118千円 H27⇒8,302千円

#### (5) 宮崎県自治会館建設助成金

「宮崎県自治会館」は、築50年以上を経過し、耐震基準を満たしていない状況であるため、管理者である「宮崎県自治会館管理組合」がこれを解体し、新たな「宮崎県自治会館」を建設することになっている。

この新たな「宮崎県自治会館」建設に対して、助成を行う。

##### ① 施設の概要

- 鉄筋コンクリート3階建 建築面積約 1,550 m<sup>2</sup>(470坪)
- ② 事業費 約643,000千円
- ③ 助成金 400,000千円
- ④ 完成 平成27年12月(予定)

## 5 市町村の振興に関する調査研究及び情報提供事業・・・1,869千円

### (1) 市町村窓口業務改善事業

#### ① 目的

各市町村の窓口における現状のサービスレベルを調査及び評価し、その結果を基に市町村ごとに改善の提案及び研修を実施する。平成26年度から、7か年計画の2年度目として、5団体について実施する。

#### ② 効果

集合研修だけで実際の窓口サービスを変えるのには時間がかかるが、現在の実態を知ることにより、職員自らの内部の自立的・自発的な力により、問題の発見、解決を進めていき、ひいては窓口サービスの更なる改善が図られ、住民満足度の向上につながる。

#### ③ 費用

1,600,000円(320,000円×5市町村)

### (2) 情報誌の発行

当協会事業の取組状況の紹介に併せ、市町村の情報発信に呼応し、文化の創造、観光や地場産業の振興、地域間交流の推進など、市町村の振興に寄与する観点から次のとおり発行する。

① 「自治みやざき」 年1回発行 部数 1,800部

## 6 宮崎県・市町村災害時安心基金を活用した被災者支援事業

自然災害による被災者支援事業を行う市町村への支援金交付を目的に、平成19年度に、宮崎県、市長会及び町村会の三者共同のもとに基金が設立された。「被災者の当面の生活を支援する」という制度趣旨に則り、迅速な支援確保の観点から、本協会がその管理運営に携わっている。

#### 基金の管理及び運用

① □宮崎県及び市町村からの拠出金並びに寄附金をもって管理運営する。

② 基金は、確実、かつ有利な方法とし、金融機関への定期預金をもって運用する。

## 7 その他の主要事業

### (1) 市町村振興宝くじ販売促進・・・・・・・・・・2,244千円

サマージャンボ等宝くじ及びオータムジャンボ宝くじについて、市町村並びに関係機関等に協力をいただきながら、県内における販売促進のための積極的な広報活動を実施する。

※ 全国発売計画（平成27年度）

#### ① サマージャンボ等宝くじ

計 画 額 1,020 億円（前年度 1,050 億円）  
 発売期間 7 / 8（水）～ 7 / 31（金） 24日間  
 抽せん日 8 / 11（火）

#### ② オータムジャンボ宝くじ

計 画 額 390 億円（前年度 390 億円）  
 発売期間 9 / 28（月）～ 10 / 16（金） 24日間  
 抽せん日 10 / 23（金）

#### ③ 宝くじ販売広報活動

項 目	サマージャンボ等	オータムジャンボ	備 考
街頭キャンペーン	6回（5都市） 宮崎市、都城市、延岡市、日向市、日南市	6回（5都市） 宮崎市、都城市、延岡市、日向市、日南市	
啓発資材の購入配布	うちわ配布 40,000 本	ティッシュなど啓発資材の配布	
ポスター掲出	公共掲示板 35ヶ所 市町村等へ 875 枚	公共掲示板 35ヶ所 市町村等へ 875 枚	⇒ 宮崎協会作成 ⇒ 全国協会より
バス広告	150 台 26 日間	150 台 26 日間	宮交バス 10 営業所

### (2) 資産の管理運用

- ・基本財産は、定期預金で管理運用する。
- ・基本財産以外の財産は、安全性及び収益性を考慮し、元本保証が確実な方法で管理運用する。